学校番号	３１３

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『高等学校 新版 地理Ａ－世界に目を向け，地域を学ぶ』（第一学習社）						
副教材等	『ﾌｫﾄｸﾞﾗﾌｨｱ地理図説 2021』（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○地球を舞台に生活している様々な人間の営みについて，地域の環境条件や他地域との結びつきなどから学習する。
○その地域では，なぜそのような営みの特徴があるのかを論理的に解明し，因果関係を確認することが大切である。
○その際には，地図，地形図はもちろん，様々な統計資料を基にして，実証的に考えることが欠かせない。

２　学習の到達目標

○現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連を踏まえて考察することを通して，現代世界の地理的認識を養う。
○地図，地形図，各種統計資料の活用の仕方を学ぶことを通して，地理的な見方や考え方を培う。
○上記２項目を通して，国際社会に主体的に生きる人間として，２１世紀の我が国の在り方や自分のたちの在り方を考える。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，２１世紀の国際社会に主体的に生きる人間としての在り方を考えようとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的･多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	授業への取り組み(発問評価) 課題プリント 小テスト 定期考査	課題プリント 小テスト 定期考査	課題プリント 小テスト 定期考査	課題プリント 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	地球儀や地図でとらえる現代世界	①球面で世界を考えよう ②世界地図の特徴を知ろう ③世界観の広がりと地図 ④国家の領域と領土問題 ⑤地図をもって生活しよう ⑥身近な地図を読みこなそう ⑦地図表現について考えよう ⑧地形図を活用しよう	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a: 世界を，地球という球面で考えていくことの大切さの認識を深める。 b: 地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を学び，時差の計算ができるようになる。 c:多様な図法で描かれた緒地図を，その長短所を理解し，用途に応じた適切な図法を選択できる。また，地形図を読むための知識を習得し，新旧地形図の比較から地域の変化を読み取ることができる。 d: 世界観の広がりとともに地図に描かれる内容が変化してきたことを理解し，衛星画像や地理情報システムなど新しい地図表現の役割を理解する。	授業発問 課題提出 小テスト 定期考査

前期	世界の人々の生活を取りまく地球的環境	①さまざまな環境の中で暮らす人々 ②世界的視野から見た地形 ③さまざまな地形と生活 ④世界的視野から見た気候 ⑤世界の気候と生活 ⑥世界の民族・宗教と生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 人々の生活様式の差異について，地理的環境との視点からに関心を持つと共に，その環境の違いが生じる理由について，関心を拡げる。 b: 世界の農業・鉱工業の発達過程を地理的環境との関連で理解し，現在の分布状況や統計資料とあわせて考察する。 c: 雨温図を作成する作業から，世界を各気候区分に分類する技術を養う。また，世界の人々がもつ民族性や言語，宗教を写真・地図を適切に使用して理解し，民族問題の本質を考察する。 d: さまざまな地形上で営まれている人々の生活とそのかかわりについて理解する。また，世界の気候帯の特徴と，生活様式の関連を理解する。	授業発問 課題提出 小テスト 定期考査
前期	世界の諸地域の生活・文化と環境	①東アジアの暮らしを学ぶ ②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ ④北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしを学ぶ ⑤中南アフリカの暮らしを学ぶ	○ ○ ○ ○ ○	○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:各地の生活と文化について関心を持ち，その背景を理解し，尊重しようとする態度が身についている。 b: 各地の生活や産業と，その地域をめぐる歴史や自然環境との関連に，気づくことができる。 c: 資料を活用して，地域の特徴や近年の変化の傾向を把握することができる。 d:アジア・アフリカ各地の自然環境や民族・宗教分布の背景から，地域情勢の現状と課題を理解する。	授業発問 課題提出 小テスト 定期考査

後期	世界の諸地域の生活・文化と環境	⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ ⑦ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ ⑨中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ⑩オセアニアの暮らしを学ぶ	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ 	a:各地の生活と文化について関心を持ち，その背景を理解し，尊重しようとする態度が身についている。 b: 各地の生活や産業と，その地域をめぐる歴史や自然環境との関連に，気づくことができる。 c: 資料を活用して，地域の特徴や近年の変化の傾向を把握することができる。 d:欧州，ロシア，中南米，オセアニア各地の自然環境や民族・宗教分布の背景から，地域情勢の現状と課題を理解する。	授業発問 課題提出 小テスト 定期考査
後期	私たちが直面する地球的課題	①地域の違いとつながりに注目する ②人口問題 ③食料問題 ④都市・居住問題 ⑤資源・エネルギー問題 ⑥地球環境問題 ⑦地球的課題への取り組みと国際協力	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	○ ○ ○	a:課題相互の関連に気づき，地域性に応じた解決への取り組みを考えようとする態度が身についている。 b:経済発展の度合い等の地域性をふまえ，問題の所在や解決の方向性を見出すことができる。 c:課題について，各種資料を収集し，そこから問題点を抽出することができる。 d:世界的な取り組みと，地域的な取り組みの双方が必要であることを理解する。	授業発問 課題提出 小テスト 定期考査
後期	自然環境と防災	①日本の自然と生活 ②自然災害に備えた暮らし	 ○	○ 	 ○	 ○	a:日本各地域の自然環境をふまえた災害学習を通して，地域の防災・減災に意欲を持つ。 b: 地形と人々の生活とのかかわりについて，歴史的背景を踏まえ，生活環境の変化を説明できる。 c:地域のハザードマップを活用して，災害時のあるべき行動を確認することができる。 d: ，災害に強い地形や環境について理解するとともに，先人の知恵と工夫が詰まった減災の工夫や，防災力を高める取り組みについて理解を深める。	授業発問 課題提出 小テスト 定期考査

後期	生活圏の地理的な諸課題と地域調査	①地域調査の方法 ②水とともに暮らすまち「白山市」を考える	○	 ○	○ ○	○	a: 地域調査の基本をマスターし，積極的に調査を行おうとしている。 b: 地域調査の結果を，ＧＩＳを使った地図やグラフ化したり，報告書をまとめ，発表したりすることができる。 c: 地域調査の一環として，的確に資料を集めたり，現地調査を行ったりすることができる。 d: 地域調査の方法を，的確に身につけている。ハザードマップの読図や統計地図の用い方を，作業などをとおして身につけている。	授業発問 課題提出 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。